



■日 時 : 平成28年9月11日(日)

■会 場 : 大阪医療技術専門学校

■主 催 : (公社)大阪府鍼灸師会

【報告】『鍼灸に必要な消毒の実際』

(一社)大阪府薬剤師会 副会長 西川 直樹 先生

感染予防の基本は、以下のようになる。

- (1) 消毒剤を使う。しかし、過信は慎まなくてはならない。
- (2) 普段から清潔にしておく。
- (3) あまり物を置かない。

〔消毒薬の種類〕

- ・滅菌(芽胞を含むすべての微生物を殺滅)——鍼が対象。
オートクレーブ滅菌またはディスポ
- ・高水準消毒(大量の芽胞を除いて、すべての微生物を殺滅)
- ・中水準消毒(芽胞以外のすべての微生物を殺滅する)——粘膜、
術野が対象。
- ・低水準消毒(結核菌などの抵抗性を有する菌および消毒薬に耐性を
有する一部の菌以外の微生物を殺滅)——医療器具、手指、手
の触れるところが対象。

通常の鍼灸臨床に使用する消毒薬は、中水準および低水準程度の消毒薬であり、次のようなものがある。しかし、分類に関わらず、個々の消毒薬の対象用途を確認すること。

<中水準消毒薬>

- ・次亜塩素酸ナトリウム(商品名ハイターなど)
- ・アルコール類(消毒用エタノール、イソプロパノール)

<低水準消毒薬>

- ・4級アンモニウム塩系(ベンザルコニウム塩化物など)
「逆性石鹼」(商品名オスパンなど)

(ベンゼトニウム塩化物(商品名ハイアミンなど))
- ・ヒグアナイド系(グルコン酸クロルヘキシジン)
(商品名ヒビテンなど)
- ・アルキルジアミンアミノエチルグリシン塩酸塩(テゴー51など)

〔リネン類の消毒〕

使用済みのリネン類は、通常の洗濯や衛生保管が行われているならば、実際の疾病伝播の危険性はとるに足らないほどである。毎日のシーツ交換をし、80℃の熱水で10分以上洗濯処理すればよい。次亜塩素酸ナトリウム（商品名ハイターなど）の塩素系消毒薬を加えて洗濯（B型肝炎ウイルス汚染が考えられる場合は0.1%、その他は0.02%）のもよい。

〔容器への注意〕

手洗い・手指消毒は、固形石鹸でも悪くは無いが、容器の内底に菌が付着しやすいので、濡れたままに放置しておくのは良くない。液体石鹸（商品名ミューズ、ビオレなど）は本来殺菌目的の薬物含有商品なので、消毒目的ではなく手洗い用として使用してください。また、詰め替え容器の場合、手の当たる容器の上部や、内部の下部に菌が付着していることがある。

また詰め替えの際蓋を開けることになるので中を洗浄し乾燥を心がけること。＊ミューズ、ビオレは最近殺菌成分のトリクロサン（欧州では使用禁止措置）から別成分のものに変更しています（各社HPより）

〔施術野の消毒〕

- ・消毒用エタノール（76.9～81.4v/v%）は、酒税が含まれているので高価。イソプロでいいが、臭いが強い。手指消毒、刺鍼、施灸時の術野消毒、体温計、聴診器、ワゴンなどの器具消毒に利用できる。火気厳禁。揮発性が強いので作り置きすると効果がなくなる。毎日新しく準備すると良い。
- ・4級アンモニウム塩系は、泡が立たないので「逆性石鹸」ともいわれる。生体皮膚・粘膜に刺激少ない。使用濃度に注意（0.05～0.1w/v%）。グラム陽性菌・陰性菌に有効。石鹸成分が混ざると殺菌力が落ちる。リネン類に吸着されるので要注意。
- ・ビグアナイド系（商品名ヒビテンなど）は、皮膚に対する刺激が少なく、持続的効果がある。黄色ブドウ球菌には、アルコール製剤を用いることが望ましい。リネン類に吸着されるので要注意。水道水で希釈すると殺菌力が低下するので、用途に応じた濃度のものを使用するのが良い。0.1～0.5w/v%で手指術野の消毒。
- ・次亜塩素酸ナトリウム（商品名ハイターなど）は、用途に応じた使用濃度に注意し、濃度表示を間違わない。家庭用のものは濃度が高い（長く保存すると濃度が落ちる）。

〔手洗いの重要性〕

大腸菌はトイレットペーパーを、30枚重ねても手に付着するするといわれる。小便の場合、ドアの取っ手や便座、洗浄レバーなどに細菌が付着しやすいので、きちんと手を洗わずにいと、食中毒のトラブルを引き起こす可能性がある。男性の場合、自分の皮膚に触れる場合があるので「黄色ブドウ球菌」がつく可能性がある。手洗後はペーパータオルの使用が好ましい。

【ロドトルラに注意】

浴室の排水溝などに赤いヌメリのある場合はロドトルラとよばれる酵母菌で、それ自体は感染症を引き起こさないが、他の菌が繁殖してこびりついてきて、赤いヌメリとなるので要注意。

【セラチアに注意】

糞便や口腔からしばしば分離される常在菌の1種で、洗面台などの湿潤環境に赤いヌメリとして存在するが、時として、院内感染、日和見（ひよりみ）感染を起こすことがある。主に体力・免疫力の弱まった人たちで、尿路感染症、気道感染症、目の感染症などを起こす。感染はしばしば重症となり、死亡する人もいる。病院内で発病する肺炎の約4%程度を占めるといわれる。消毒には、70%のエタノールが有効である。（西川直樹先生校閲済）

【追加】廃棄物の処理

感染性廃棄物は、感染性病原体が含まれ、もしくは付着している廃棄物またはこれらのおそれのある廃棄物をさします。鍼および血液等のついた綿花は「産業廃棄物」扱いとなっています。鍼は先端が尖っているため血液等の付着にかかわらず、その対象になり、産業廃棄物業者と契約する必要があります。治療院から運び出して、道路にばらまいてしまうと後始末がおおごとになり、信頼性を失うことになりかねません。（公社）大阪府鍼灸師会会員は業者と提携することになっていますので、まだの方は、事務局にお尋ねください。

（研修委員会 三木 完二）